



修了は、1年の「節目」

昼間の暖かさは、まさに春の訪れを感じさせます。この暖かさに誘われて、沈丁花のつぼみもはじけ、良い香りを振りまく季節となりました。

本日、令和6年度の「修了式」を迎えました。1～5年生の子どもたちは次の学年への進級に向けて心を新たにする1日になったことと思います。

さて、日本を代表する植物の一つである竹は、雪の重みや強い風雨にも耐え、他の木々にはない「節目」を持って空に向かって真っすぐに成長します。風を全体で受け止めるしなやかさと共に雪を返り返って跳ね返す力強さも持っています。そのたくましさの秘密は、軽さと強さを併せ持つ規則正しい「節目」にあると言われています。そのような力を持つ竹は、種から発芽するまでに4年以上かかり、その間に地下で1年間に7～8mもの根を張って地上の竹を支える準備をします。やがて芽を出した竹は、「節目」ごとに成長点を持つことで、2か月で20mにもなります。この目に見える成長の姿と共に目には見えない支える力のバランスは、人が生きていく上でのヒントを与えてくれているようにも思います。

「節」をつくり、外からの多くの力をしなやかに力強く受け止め成長する姿は、子どもたちが目標に向かって頑張ろうと粘り強く取り組む姿に重ねられます。また、学びの過程での目に見える行動や成果だけではなく、それらを支える意欲につながる周りから見えないところでの努力の大切さも教えてくれます。



この1年間、子どもたちにとって、様々な困難があったかと思いますが、この年度末や、一人一人の成長の節目においては、目標を再確認し、振り返りを行うことが大切です。その積み重ねが、しなやかさと力強さのもととなる「節」を築き、これから出会う様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源になることと思います。

最後になりますが、今年度、保護者の皆様、地域の皆様には、和田小学校の教育活動に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。来年度も「感動体験」のある学校、そして、自ら考え行動する子どもたちの育成を目指して挑戦し続けます。よろしくお願いいたします。



学習活動(行事)で振り返る3学期



1月24日、2年生が道徳「りつとにじのたね」を行いました。子どもたちは、「得意なことがみんな違うから、それぞれが輝くことができるということ」などを学びました。



1月27日、3年生は、警察署と消防署を見学しました。町の人たちの安全を守るために、それぞれ仕事で苦労や工夫していることを学ぶことができました。



2月6日から8日、和田公民館において、4年生が「4マリンミュージアム」を開催し、探究学習の成果をプレゼンテーションしました。3日間にわたって多くの方に来館いただき、大いに盛り上がりました。

2月18日、6年生がサッカー教室に参加しました。当日は、福井F Cユナイテッドの選手と一緒にパスやドリブルの練習やミニゲームを行いました。



2月21日、和田公民館において5年生が、プレゼン大会を行いました。8つのグループから「もち米レシピ」の提案を行い、その後の投票で「焼きおにぎり」が選ばれました。



2月21日、1年生が「昔遊び体験」を行いました。ご家族の皆さんと一緒に、あやとりやこま回し、めんこやけん玉に楽しく挑戦することができました。

